

「税」は私のスーパーヒーロー

浦添市立港川中学校3年 南湖 日菜華

私は絵が好きだ。アニメも好きでヒーロー系をよく見る。イラストレーターになることが夢だ。勉強で「税」について学んだ時ふと気がついたことがある。そのアニメと「税」が似ているのではないかと。

税金は多くの種類がある。財務省のホームページを見ると、国の税金としてだけで二十種類もあった。聞き覚えのある消費税について調べてみると、一九八九年に導入されて以降、法改正がされながら、現在は買い物をする時8%又は10%を代金に足して払っているそうだ。私は画材をよく購入するので、中学生も納税するんだと驚いた。消費税分のお金を「負担している」点では、国民から大事なお金を搾取しているようで悪者に思えた。

だが本当にそうだろうか。私の住む浦添市の埋立地や、通っている学校・教育を始め、犯罪から守ってくれる警察や病院で利用する医療サービスも税金が使われている。世界的に見ても珍しい、蛇口から水が直接飲めるのも、上下水道が整備されているおかげだ。各自では努力してもとても実現できない。これが私の住む地域だけではなく日本中で整備されている。

助けてもらえるのが当たり前とヒーローに文句を言い放つキャラクターがアニメに出ることがある。ヒーローが陰で血の滲む努力をしていることを知りもせず、権利ばかり主張する「嫌な奴」だ。税の知識がなく、納税を「お金を取られた」などと思っていた私は、まさに「嫌な奴」に成り下がっていたのではないだろうか。

犯罪者を取り締まる警察、火事から助けてくれる消防士、災害時の自衛隊派遣などはもはや映画の世界だ。私の払った消費税も少額だが税の財源の一部になれている。某アニメではここ一番のピンチになった時、元気を分けてもらい敵を倒す技がある。一人ひとり小さな力でも、集まるとすごい効果を発揮する。ヒーローだって一人じゃ戦えない。私達が支える必要がある。私はまだ中学生で、税金の恩恵を受けるばかりなので、実際に納税してくれている大人を尊敬する。

消費税は、令和五年十月から「インボイス制度」という適格請求者の発行又は保存により消費税の仕入控除を受けるための制度が始まる。利用するには税務署に書類を提出する必要があるそうだ。正直まだ頭の中は空っぽだが、税の知識と将来の夢を詰めこんで大人になろう。去年もコロナという病気が大流行した。台風で大きな被害も発生した。今はインターネットで世界中の出来事を知ることできる。助けが必要な国民がいることを認知して、将来は誰かの笑顔を支えている税金をしっかりと納めたい。

私は納税で特大の元気をヒーローに分けてあげられるイラストレーターになるのだ。